

原  
本  
史  
料

# 作 命 綴

32A 命令 甲  
32A 命令 乙  
19 航地 甲  
50 飛行 甲

- ① 球 作命 甲
- ② 19 航地 作命 甲
- ③ 32A 紛斗 指針
- ④ 栗建 6 中 作命
- ⑤ 44 志 作命
- ⑥ 50 飛行 大 作

球  
牙  
二  
七  
七  
四  
部  
隊

(西  
塞  
建  
築  
勤  
務  
六  
中  
隊)

防  
衛  
研  
修  
所



1936  
A

年一六九

球作命甲第九十四號

第三十二軍命令

一月四日〇九〇〇  
那霸

軍給泊隊長ハ機不現配置ヲ以テ左記

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票  
防衛庁防衛研修所戦史室

表 題	
整理番号	
作成の部隊 庁・個人名等	
作成年月日	明治 大正 昭和
史 料 の 主 内 容	
備 考 (本史料に關 する参考事項 を記す)	
史 料 の 入 手 経 路	本史料は大東亞戦争中米軍が直接戦場で鹵獲し、又は内地進駐後、陸 海軍諸機関から採取した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊 外フランコニア等の記録保管所に保管されていたが、米国務省に対す る日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4 月横浜市、同月10日指定保管責任たる防衛研修所戦史室の手に歸し たものである。
責 任 者 名 職 氏	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月調査

年一〇二

球作命甲第九十四號

第三十二軍命令

一月四日〇九〇  
那霸

軍船舶隊長ハ概ネ現配置ヲ以テ左記  
島嶼ノ防衛ニ任ズベシ

左記

慶伊瀬島

慶良間列島

久米島

渡名喜島及出砂島

栗國島

軍司令官 牛島 満

下達法

印刷交付

配布區分

沖繩本島隸下指揮下部隊  
先島 奄美 沖根

十九航地作命之第三六號

第十九航空地品司令部命令

六月五日三時

一 第五十飛行場大隊長ハ伊江島派遣中ノ第一大要塞建築隊  
第六小隊内ニ一分隊ヲ設置セシメ爾余ハ本隊ニ復取セシム

ニ

第五十飛行場大隊及地品司令部自動車班ハ前項部

隊ノ輸送ヲ担任スベシ

細部ハ相互協定スルモトス

下達法 口達後印刷配布

配布先

52ab  
6KV

野村 功

一 野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

野村 功

十九航地作命丙第五〇號

第十九航空地區司令部命令

一月十六日

野村 功

一 地區司令部ハ球作命丁第三三七號ニ基キ各隊兵器(銃器・火砲)ノ修理ヲ實施セントス

二 第五十六飛行場大隊長ハ球作命丁第三三七號別紙計画ニ基キ一月十九日迄ニ兵器修理實施ニ関スル諸準備ヲ完了スルト共ニ移動修理班ノ宿營給與ヲ担任スベシ

三 兵器修理實施ノ細部ニ関シテハ五味准尉ヲシテ指示ス

下 達 法 要旨口達後印刷配布

配 布 先

- 32A
- 50ab
- 56ab
- 44ab
- 26TM
- 3FS
- 6Kil
- 46FR
- 野村 功

十九航地作命甲第百八號

第十九航空地區司令部命令

昭和20年2月3日  
一月三十一日二二號

- 一 航空地區司令部ハ航空基地第二次整備要綱ニ基キ管理飛行場ノ附屬設備ヲ増強セントス
- 二 各飛行場大隊長ハ航空地區司令部「航空基地第二次整備要綱」ニ據リ増補作業ヲ依然續行スベシ
- 細部ハ現地ニ於テ指示ス

三 航空通信聯隊第六中隊長及第二十六對空無線隊長並ニ第六要塞建築中隊長ハ成レ可ク多ク人員器材ヲ北飛行場ニ差出シ第五十六飛行場大隊長ノ指揮ニ入ラシメ作業ニ協力セシムベシ

地區司令部附上田中尉ハ同大隊長ノ指揮ニ入り合同通信所ノ建設ニ任ズベシ

四 誠第一整備中隊長ハ成レ可ク多ク人員器材ヲ比謝部落附近ニ差出シ第五十六飛行場大隊長ノ指揮ニ入ラシメ作業ニ協力セシムベシ

下達法   口達電話后印刷配布

配布先   32A 8FD 指揮下區處下各部隊

極秘

要建六中隊命令第四號

要建六中隊命令 七月三十一日 北飛行場

一 航空地區司令部八航空基地第二次教上備要編ニ

基ヲ管理飛行場ノ附屬設備ノ増強ヲ企圖スル

二 中隊八十九航地作命甲第一〇八號三項ニ基キ一部

人員器材ヲ北飛行場ニ差出シ前項増補作業協

カヲ命ゼシ

三 補渡少尉八中隊各作業ヲ繼續スルト共ニ隨時北

飛行場ニ至リ前項増補作業ノ指導ニ任ズベシ

四 金丸伍長ハ別紙編成人員ヲ指揮シ明二月一日

ヨリ以降北飛行場ニ至リ第五十六飛行場大

隊長ノ區署ヲ受ケベシ

五 宿泊給養ハ第五十六飛行場大隊ニ於テ受ケ個

人裝備ノ兵器被服寢具ノ一切ヲ携行スベシ

六 携行器材及輸送並ニ細部ニ關シテハ別ニ示ス

中隊長 原口 八郎

下達法 關係者ヲ集メ要旨ヲ達後印副配布

報告通電

19SB 5604

# 北飛行場派遣隊編成表

昭和二十一年一月三十一日  
隊第二七七四部

今隊長 陸軍伍長 金九美義

階級別 人員表	伍長	兵長	上等兵	一等兵	計
	一	一	一	三五	
農	農	農	農	農	農
井上宗次郎	安藤政喜 大工	金丸吉藏 農	廣工	見島茂	
山口國雄 農	門脇政太郎 農	山本口喜 大工	岩切道徳 農	須田利秋 農	甲斐豆
長尾綱義 大工	初日合 大工	池田等 農	竹松政二 農		
黒木武夫 大工	林美春 大工	河野勇平 農	吉武傳 農		
阿久根操 大工	高橋孝太郎 農	黒不政春 大工	齊藤新 農		
有村實 大工	猿渡清 大工	森重武男 大工	園田實義 農		
三輪長助 大工	大和田貞壽 大工	八代重雄 大工	松田武男 農		
黒木比農夫 大工	吉永武男 大工	山口藤義 農	上米良宗太郎 農		



十九航地作命甲第百九號

第十九航空地區司令部命令

二月十四日 港

一 敵情ハ別紙情報速報ノ如シ

二 航空部隊ハ右情況ニ鑑ミ對應ノ處置ヲ講セン  
トス

三 第一分廠長ハ北飛行場ニ在ル修理完成機ヲ悉ク  
伊良皆新設遮蔽施設ニ移動シ既設ノ特掩體  
ヲ開放シ小型ノ帶留機ヲ之ニ收容セシメ大型機ハ  
中飛行場ニ繫留スル如ク本日中ニ處理スルモノトス  
飛行機ノ移動ニ関シテハ誠第一整備中隊第五〇三  
特設警備工兵隊ノ各一部ヲシテ協力セシム

四 誠第一整備中隊長ハ現作業中ノ土居隊ノ外更ニ部  
ノ兵力ヲ第五〇三特設警備工兵隊長ハ在伊良皆ノ兵力  
ヲ各前項ノ協力ニ差出スベシ

五 第五〇六飛行場大隊長ハ沖繩北飛行場ノ土掩體ノ  
偽裝ノ強化ト共ニ偽飛行機及大破機ヲ全部本日  
中ニ之ニ收容セシムベシ

又伊良皆誘導路及遮蔽施設位置ノ偽裝ヲ繼續ス  
ベシ

六 第四〇四飛行場大隊長ハ本日以後北飛行場ヨリ移動  
スル大型機ノ繫留確保並ニ搭乗者ノ宿營休養ヲ  
擔任スベシ

七北飛行場比謝附近ノ遮蔽施設之ニ伴フ誘導路  
ハ航空地區司令部新名中尉ノ區署ニ依リ本日中ニ  
之ヲ概成シ明日以後使用ニ供シ得ル如ク實施スベシ  
八第五十六飛行場大隊ハ新設誘導路引込路及遮  
蔽施設ノ偽裝迷彩ヲ本日中ニ概成スベシ

九各飛行場大隊長ハ敵空襲後ニ於テモ反軍機行  
動ニ即時支障ナキ如ク隨時飛行場ノ被害補修  
ヲ實施スベシ

五、第五〇三特設警備工兵隊長ハ主力ヲ以テ隨時沖繩  
北飛行場ノ被害補修ヲ實施シ得ル態勢ニ在ルベ  
シ  
出動ノ時機ハ別命ス

二第六要塞建築隊長ハ別ニ示ス處ニ依リ兵力ヲ差  
出スベシ

### 第十九航空地區司令官

下達法   口達・電報・電話后印刷交付

報告通報先   32A 8FD 62D (2/1AA)

配布先   指揮下區處下關係各部隊



軍事機密

球作命甲第百三號

第二十二軍命令

二月十日八時

12/6

一 軍公魚雷艇自送來狀況ニ鑑ミ雷撃戦ヲ準備  
ヲ中止シ新ニ海上遊撃戦ヲ準備セントス

二 軍被船隊長自今船舶工兵聯隊ヲ以テ第七船舶  
輸送司令部沖繩支部ニ協カシ同地輸送ニ任ゼシ  
ルト共ニ速ニ三部ヲ以テ波久地附近ニ主力ヲ以テ與  
那原及那霸港附近ニ基地ヲ設定シ其ヲ海上  
遊撃戦ヲ準備スベシ

隊長	
供	

高地輸送、細部ニ関シテ其、都度別命ス  
 尚在渡久地部隊ノ海上遊撃戦、準備ニ関シテ國  
 頭支隊長ノ區處ヲ受クシムベシ  
 三國頭支隊長ハ在渡久地艦艇部隊一部ニ海上遊撃  
 戦、準備ニ関シテ之ノ區處スベシ  
 四、細項ニ関シテハ主任參謀ヲシテ指示セム

軍司令官 牛島滿

下達  
 配布  
 兼下區處

球作命令第百六號

第三十二軍命令

三月十五日 二〇〇  
 里

一、諸情報ヲ綜合シテ進ノ敵ハ南西諸島ニ達  
 攻メ企圖スルノ算ナリ  
 二、軍八直ニ艦艇工兵隊ヲ海上遊撃戦基  
 地ニ配置セントス  
 三、軍艦部隊長ハ直ニ一部ヲ渡久地ニ於テ國頭  
 支隊長ノ指揮下ニ入リテ其ノ力ヲ那

港及嶺那原ニ基地ヲ轉移シ海上遊撃戰  
ヲ進守備スルニ

四國頭支隊長ハ在漫久地船舶工兵聚隊ノ一部  
ヲ併セ指揮シ海上遊撃戰ヲ準備スルニ

軍司令官高牛島滿

下達法 (印刷文様)  
配布区分  
幕下已處下取

軍事機密

隊長	
(印)	

第三十二軍戰鬥指針

第一號 (二月十五日)

擊敵合言葉 (標語)

一機一艦一船

一艇一船

一人十殺一戰車

貴隊下、指揮下部隊ニ至急徹底相成候

軍事機密

第三十二軍戰鬥指針

第二號 (二月十五日)

敵上陸前、砲爆雷ニ對シテハ我が戦力、過存ニ徹スベシ

之が爲

一 築城、掩護力ヲ重視スルト共ニ分散遮蔽偽裝欺騙ノ價値ヲ認識スベシ

二 陣地ハ、配兵時機ヲ適切ナラシムベシ

第三號 (二月十五日)

上陸シ來ル敵ニ對シテハ絶対威力圈内ニ於テ之ヲ捕  
捉シ一舉殲滅ヲ計ルヘシ

之ヲ為

一射撃開始時過早ヲ警メ敵上陸軍ノ第一波ハ自由ニ陸

セシメヨ

二火器ノ絶対威力圏ハ其ノ最大射程ノ十分一以下ナリト心得スシ

三捕捉ノ要ハ不動如林敵ヲ誘リ我ノ腹中ニ致スニ在リ

軍事機密

第三十二軍戰鬥指針

第四號 (二月十五日)

敵戰車ノ突進容易ナル地形特ニ道路ノ阻止  
施設ヲ準備スベシ

之ガ為

- 一 海岸地帯ノ平素不要ノ道路ハ破壊スベシ
- 二 平素使用スル道路ハ地雷其他ノ障礙資材ヲ準備シ急  
速ニ阻止シ得ル如ク計畫準備スベシ



第三十二軍戰鬥指導

第五號

(二月十五日)

軍ハ如何<sup>テ</sup>ル事態ニ於<sup>テ</sup>モ斷<sup>シテ</sup>「<sup>パ</sup>ニ<sup>ク</sup>ク」  
生<sup>ビ</sup>シメザルヲ<sup>對</sup>シテ<sup>信</sup>條トスベシ

(1) 「<sup>パ</sup>ニ<sup>ク</sup>ク」ハ各級指揮官指揮權ヲ承行嚴肅<sup>ト</sup>ラザルヨリ  
生ズ熾烈<sup>ニ</sup>砲爆<sup>ニ</sup>下指揮官自<sup>ラ</sup>必勝<sup>ノ</sup>信念ト堅確  
不動<sup>ノ</sup>意志ヲ以<sup>テ</sup>毅然<sup>ト</sup>シテ戰鬥ヲ指揮スベシ

(2) 「<sup>パ</sup>ニ<sup>ク</sup>ク」ハ不意<sup>ノ</sup>衝<sup>ニ</sup>出<sup>ル</sup>ヨリ生<sup>ジ</sup>易<sup>シ</sup>  
諸隊ハ眞<sup>ニ</sup>形<sup>ノ</sup>上<sup>下</sup>ニ且<sup>リ</sup>「<sup>パ</sup>ニ<sup>ク</sup>ク」待<sup>ツ</sup>ルヲ恃<sup>ム</sup>ハ<sup>レ</sup>状態<sup>ニ</sup>在<sup>ル</sup>ヲ緊

要トス

(3) 精神訓練ヲ重視スルノ要アリ

「参考」

國軍ニ於テ、他國軍ニ比シ、ハバラク、ノ現象少ク、高杰、ルモ左ノ例アリ  
反者ヲ要ス

(4) 昭和十九年九月下旬「メバオ」ニ於ケル敵上陸ノ誤報ニ際シ、海軍ハ幾多  
貴重ナル火砲、資材等ヲ破壊シ、附近住民ハ雪崩ヲ打テ山地へ

逃避セリ

(5) 「ワルブ」上陸ニ際シテ、同地港灣ニ在リシ後方部隊ハ「ハニク」ニ生  
シ後方ニ退却セリ

(ハ)「サイハン」ニ於テハ熾烈ナル艦砲射撃空爆ヨリ守備隊一部  
 ニ於テ周章狼狽卓隊ノ團結弛解ヲ来セルモノアリ

第三十二軍戰鬥指導

第五號

(一九四一年十一月五日)

軍ハ如何ナル事態ニ於テモ斷シテ「パニック」ヲ生ビシメザルヲ絶対ノ信條トスル

(1) 「パニック」ハ各級指揮官指揮權ヲ承行嚴肅トラザルヨリ

生ズ 熾烈ナル砲爆密下指揮官自ラ必勝ノ信念ト堅確不動ノ意志ヲ以テ毅然トシテ戰鬥ヲ指揮スベシ

(2) 「パニック」ハ不意ノ衝密ニヨル狼狽ヨリ生ジ易シ 諸隊ハ眞ニ形而上下ニ且リ「待ツルヲ恃ム」ノ状態ニ在ルヲ緊

要トス

(3) 精神訓練ヲ重視スルノ要アリ

「参考」

國軍ニ於テハ他國軍ニ比シ「パニック」ノ現象少ク、當然ナルモ左ノ例アリ

反省ヲ要ス

(1) 昭和十九年九月下旬「メバオ」ニ於テ敵上陸ノ誤報ニ際シ海軍ハ幾多貴重ナル火砲資材等ヲ破壊シ附近住民ハ雪崩ヲ打テ山地ハ

逃避セリ

(2) 「ワルフ」上陸ニ際シハ同地港灣ニ在リシ後方部隊ハ「パニック」ヲ生

ジ後方ニ退却セリ

(ハ) 四ハパンニ於テハ熾烈ナル艦砲射撃空爆ヨリ守備隊一部  
 ニ於テ周章狼狽卓隊ノ團結弛解ヲ來セルモアリ

隊	
隊	

五〇飛大作命第一七五號

第五十飛行場大隊命令

二月十八日一六三〇  
 部隊本部  
 伊江

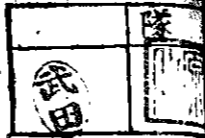
飯島

- 一 大隊ハ一九航電同電第一〇二號ニ據リ要塞建築伊江島派遣隊ヲ中隊ニ復歸セシメントス
- 二 門脇軍曹ハ分隊ヲ指揮シ明日十九日一七〇。伊江島ヲ出發速カニ中隊ニ復歸スベシ
- 三 補給中隊長ハ前項部隊ノ復歸ヲ爲伊江島内ノ輸送ニ関シ援助スベシ
- 四 平野少尉ハ渡久地——嘉手納間該隊ヲ輸送ニ関シ援助スベシ

水野

下達法  
報告通先

電話後印刷交付  
 32A 190B 要建第六中隊



球作命乙第二號

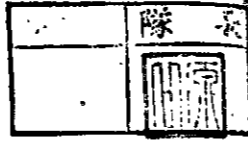
第三十二軍命令

二月十九日一〇〇里

要塞建築勤務第六中隊、第十  
九航空地區司令官ノ指揮下  
ニ入ルベシ

軍司令官 牛島 満

下達法 印刷交付  
配布先 要建中經軍



十九航空地作命第百十一號

昭和二十年二月



第十九航空地區司令部命令

二月二十一日 六時

一、第六要港建築中隊長、八分隊長ヲ長トスル二個班ヲ  
伊江島ニ派遣セシメ、第五十飛行場大隊長ノ指揮下ニ

入ラシムベシ

下達後印刷配布

配布先 32A 6L11

秘

要建六中作命第七號

要建六中隊命令

二月二十三日  
北谷村露野地

一 中隊八十九航地作命第一一二號ニ基キ分隊

長ヲ長トスルニケ班、兵力ヲ伊江島ニ派遣セン

トス

二 第二小隊長ハ所屬軍曹ヲ長トスルニケ班ヲ編

成シ明日二十四日以降伊江島ニ至ラシメ第五

十飛行場大隊長ノ指揮下ニ入ラシムベシ

三 永野主計伍長ハ携行糧秣二日分ヲ準備

シ本二十三日夜食後門脇軍曹日ニ交附スベシ

四 輸送班ハ前項派遣人員嘉手納―本部

町間ノ輸送ヲ擔任スベシ

五 細部ニ關シテハ別ニ示ス

中隊長 原口八郎

下達法 一 關係者ヲ集メ要旨ヲ達後印刷配布

報告(通報)

19AB  
50A



伊江島派遣隊編成表

昭和二十二年二月二十三日  
第二七七四部隊

分隊長

陸軍軍曹

河崎

茂幸

一等兵	立上 美真	戸川 勇	黒木 賢次	大工 一	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
二等兵	勝 光雄	立山 一天	内田 計佐利	大工 三	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
三等兵	小 重忠	永 峯 勇	上池 竹三	大工 二	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
上等兵	包 塚 鎮英	幸原 貞雄	渡會 七郎	大工 一	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
上等兵	境 田 美 藤	黒 田 海 生	宮 永 好 一	大工 一	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
上等兵	竹 本 廣 二		本 田 幸 作	大工 一	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍
上等兵					陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍	陸軍 陸軍

階級別人員	上等兵	二等兵	一等兵	計
	一	一	二〇	二三

隊	
	

十九航地作命乙第三十四號

第十九航空地區司令部命令

二月二十三日 大

一 球作命乙第四號ニ據リ第三獨立整備隊ノ主力ハ  
中飛行場ニ展開セシメラル

二 第四十四飛行場大隊長ハ前項部隊移動ニ伴フ  
輸送ニ関シ密ニ援助スベシ

三 第六要塞建築中隊ハ前項部隊ノ諸施設ノ建  
設ニ任ズベシ

細部ハ相互協定スベシ  
下達法 印刷交付  
配布先 32A 印刷  
44ab 印刷  
3FS 印刷  
6K2 印刷

十九航地作命甲第百十二號

第十九航空地區司令部命令

昭和二十一年九月九日

一連日ノ雨天ニ拘ラス各隊ノ努力ニ依リ飛行機  
秘匿施設(掩體)及合同通信所ノ掩護施  
設ハ所期ノ如ク完成セリ

二各大隊ハ三月一日以降更ニ球參空第七號ニ  
依ル通牒ニ基キ洞窟又ハ半洞窟掩體構築  
ニ移行スルト共ニ別紙指示ニ基キ訓練スベシ

三比謝附近ノ飛行機秘匿施設及誘導路ハ三  
月一日以降北飛行場保管者ニ移管スレモトス

四第五〇三特設警備工兵隊(二中隊欠)ハ三月一日以  
降第五十六飛行場大隊長ノ指揮ニ入ルベシ

五誠第一整備中隊長ハ引續キ成ルベク多クノ兵力ヲ  
日々第五十六飛行場大隊長ノ實施スル訓練及  
作業ニ差出シ協力セシムベシ

細部ハ相互協定スベシ

六第六要塞建築中隊ノ作業ニ關シテハ別ニ示ス

七各大隊ノ作業ノ實施ニ關シテ現場ニ於テ指示スルモ  
各大隊長ハ豫メ偵察シ意見ヲ呈スルモノトス

下達法 口達后印刷配布

配布先 各隊 指揮下區處下各部隊

十九航地作命甲百十三號

第十九航空地區司令部命令

三月一日 大 海

一 本一日南西諸島ニ來襲セル第五十八機動部隊ハ  
那霸基點一五七度ニ〇〇埋ノ地點ヲ遊弋中ナリ  
二 海軍ノ通報ニ據ルニ海軍航空艦隊ハ本薄暮  
九州ヨリ前項機動部隊ヲ攻撃ノ豫定

三 各大隊長ハ一九〇〇迄ニ夫々保管飛行場ノ復  
舊作業及夜間設備ノ準備ヲ完成スルト共ニ  
隨時飛來スル空中部隊ニ密ニ協力スベシ

四 第五〇三特設警備工兵隊長ハ第四十四飛行場  
大隊長ノ指揮下ニ在ル二個中隊ヲ併セ指揮スベシ  
五 第六要基建築中隊長ハ主力ヲ中飛行場ニ航

空通信聯隊第六中隊及第二十六對空無線隊ハ  
北飛行場ニ夫々派遣セシメ飛行場大隊長ノ指  
揮ニ入ラシメ飛行場復舊作業ニ任ゼシムベシ

六 第一分廠長及第三獨立整備隊長ハ一部ヲ夫々  
北中飛行場ニ常時進出セシメ戦闘整備ニ協  
力セシムベシ

七 地區司令部午菴主計少佐及外所軍醫少佐ハ各  
飛行場ノ給養並ニ救護ニ關シ夫々飛行場大隊  
ヲ指導スベシ

八 各隊長ハ夜間及明拂曉敵空襲ニ對シ嚴ニ警

- 一 送軍ノ通報ニ據リ送軍所空艦隊ハ本港港
- 九州ヨリ前項機動部隊ヲ攻撃ノ豫定
- 三 各大隊長ハ一丸ヲ込ニ夫々保管飛行場ノ復  
舊作業及夜間設備ノ準備ヲ完成スルト共ニ  
隨時飛來スル空中部隊ニ密ニ協力スベシ
- 四 第五〇三特設警備工兵隊長ハ第四十四飛行場  
大隊長ノ指揮下ニ在ル二個中隊ヲ併セ指揮スベシ
- 五 第六要塞建築中隊長ハ主力ヲ中飛行場ニ航  
空通信聯隊第六中隊及第二十六對空無線隊ハ  
北飛行場ニ夫々派遣セシメ飛行場大隊長ノ指  
揮ニ入ラシメ飛行場復舊作業ニ任ゼシムベシ
- 六 第一分廠長及第三独立整備隊長ハ一部ヲ夫々  
北中飛行場ニ常時進出セシメ戦闘整備ニ協  
力セシムベシ

- 七 地區司令部午菴主計少佐及外所軍醫少佐ハ各  
飛行場ノ給養並ニ救護ニ關シ夫々飛行場大隊  
ヲ指導スベシ
- 八 各隊長ハ夜間及明拂曉敵空襲ニ對シ嚴ニ警  
戒スベシ

下 違法 口達電話 電報后印刷配布  
配布先 32A 8FD 指揮下區處下各部隊

		隊長

四四飛大作命第六號

第四十四飛行場大隊命令

三浦中飛行場

一 今朝来ヨリ數回ニ亘ル敵機ノ攻撃ニモ拘ラス損害ハ極メテ輕微ニシテ特ニ飛行機ノ損害ハ皆無ナリ

二 大隊ハ九航地作命甲第百十三號ニ據リ速カニ飛行場ノ復旧作業ヲ實施シ敵機動部隊ヲ攻撃スル海軍航空艦隊ニ協力セントス

三 警備中隊長ハ主カヲ以テ西部誘導路ノ清掃並ニ彈痕補修ニ任スベシ

四 特設警備工兵隊長ハ主カヲ以テ滑走路及東部誘導路ノ彈痕補修ノ清掃ニ任スルト共ニ部ヲ以テ炊事場ノ整理ニ任スベシ自動貨車三

車輛ヲ配屬ス

五 補給中隊長ハ自動貨車三車輛ヲ特設警備工兵隊長ノ指揮ニ入ラシムルト共ニ別ニ指示スル所ニ據リ燃彈ノ補給及夜間設備ノ準備ヲナス

六 本部各機關ハ別ニ指示スル所ニ據リ行動スベシ

七 彈痕補修及清掃ハ九。造ニ完成スベシ

大隊長 野崎大尉

下達法口達筆記後印刷配布  
報告(通報)先 1958 (504)

第三二軍戰鬥方針

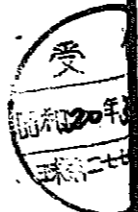
第九號

(三月三日)

敵、馬乗り及襲撃ニ對スル

洞窟陣地ノ弱點ヲ再認識スベシ

敵ハ、コレヒトトルニ我ガ洞窟坑道陣地ヲ空挺部隊  
ヲ以テ馬乗りニ攻撃セリ 硫黄島摺鉢山洞窟題  
前陣地ニ對シテ、敵ハ地上部隊ヲ以テ再ヒ馬乗り攻  
撃ヲ實施シ我ガ坑道ノ上方ヨリ鑿岩機ヲ以テ直



孔ヲ掘リ煙ヲ注入シ煙リ出シ戰法ニ出テナリ

洞窟坑道障地ノ弱點ニ関シテハ戰斗指針第六號ニ

列擧セルトシテ敵ガ以上ノ如キ戰法ニ出テタルハ其ノ

弱點ニ乘ジタルニ外ナズ即チ直接自衛力ノ薄弱

相互支援力ノ組織ノ不備 就中 洞窟障地ノ上面

ニ生シ易キ垂直射界上ノ死角ヲ利用セルモノナリ

我等ハ個々ノ洞窟坑道障地ノ物價的掩護力ノミニ滿

足スルコトナク其ノ弱點ヲ明察シ之ヲ有機的能動的ニ

戰斗ニ忍目トセザルベカラズ



十九航地作命甲第百十四號

三月十六日

第十九航空地區司令部命令

第百八十四號

一 大本營ハ陸海軍協同シ東支那海周邊ニ於テ  
 天孫航空作戰ノ遂行ヲ企圖シ第六航空軍ヲ以  
 テ主トシテ沖繩本島(含ム)以北 第八飛行師團ヲ  
 以テ概ネ沖繩本島(含ム)以南ノ航空作戰ヲ實施  
 セシメラレ

二 軍ハ第六航空軍及第八飛行師團ノ行フ航空作  
 戰ニ協力ス

自今沖繩本島(含ム)以北ニ在ル航空部隊ニ對スル  
 第八飛行師團長ノ區處ヲ解除セラレ

三 各大隊ハ天孫作戰ノ諸準備ニ全力ヲ傾注シ戰鬪  
 整備・補給・宿營・給養ニ遺憾ナキヲ期スルト共  
 ニ飛行機祕匿掩體及誘導路ノ早急補備増  
 強スベシ

飛行部隊協力ニ關シテノ指示別紙ノ如シ

四 第六要塞建築中隊ハ主力ヲ以テ休宿休養施設  
 ヲ構築シ一部ヲ以テ爆彈裝備器具ヲ製作スベシ  
 下達法 口達后印刷配布  
 配布先 32A 870 指揮下區處下各部隊

別紙

飛行部隊ノ協力ニ關スル指示

- 飛行部隊協力ニ關シテハ各大隊共戦闘整備班ヲ編成シ左記事項ヲ完全ニ實施スル如ク晝夜ヲ分テズ痾練スルト共ニ第三項目ハ特設警備工兵隊ヲモ訓練セシムベシ
- 一 協力飛行部隊ノ裝備機種ニ對スル燃彈及酸素ノ搭載ヲ飛行部隊ト協力シ迅速正確ニ實施シ得シム
  - 二 夜間飛行設備ヲ迅速完全ニ實施シ得シメ夜間ニ於ケル空地連絡ノ確實ヲ期セシム
  - 三 飛行機發着ノ統制始動法誘導操法地上滑走ノ補助掩體ヘノ運搬ヲ整齊敏速ニ實施セシム
  - 四 飛行場ノ各種標示(信標ヲ含ム)ヲ迅速確實ニ實施得シム
  - 五 飛行機ノ修理輕易ナル部品交換點檢手入調整ノ援助ヲ實施セシム


大本營ハ陸海軍協同シ東支那海周邊ニ於テ凡天  
航空作戰ノ遂行ヲ企圖トシ軍ハ第六航空軍及第八  
飛行師團ノ行フ航空作戰ニ協力ス又情況ニ鑑ミ防  
衛召集ヲ強化作戰準備ヲ實施ス

二天隊ハ十九航地作命甲第百十四號ニ依リ爾今第  
八飛行師團長ノ區處ヲ脱シ防衛召集ノ獨立中  
隊ニテ中隊ヲ併セ指揮シ飛行場設定整備並ニ展  
開飛行部隊ニ對スル補給戰術整備若營給養準備  
備ヲ實施セントス

三本部各機關ハ依然現任務ヲ續行スル外指揮下獨  
立中隊ノ若營給養給與ヲ担任スルト共ニ兵器委  
員ハ若營設備材料ヲ準備スベシ

四補給中隊長ハ現任務ヲ續行スル外別ニ示ス所ニ  
從ヒ教育訓練飛行部隊協力準備ヲ實施スベシ  
五警備中隊長ハ第五百四特設警備工兵隊ノニテ  
中隊ヲ指揮ヨリ脱シ新ニ獨立第一中隊ヲ併セ  
指揮シ現任務ヲ續行ス

六第五百四特設警備工兵隊ハ一々中隊ヲ第ニ十九  
野戰飛行場設定隊長ノ指揮下ニ入ラシメ一々中隊  
ヲ以テ滑走地區ノ補修排水溝ノ構築ニテ中  
隊ヲ以テ鋪裝用材料ノ採取ニ任ゼンムベシ

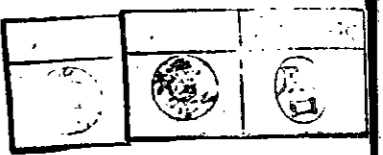
七爾今警備中隊長ノ指揮ヨリ脱ス  
七第五百三特設警備工兵隊ノニテ中隊ハ原隊ニ復  
歸スベシ

八第六要塞建築隊ハ若營設備構築掩体偽裝

及その他ニ關シテ協力スル等  
九教育訓練作業其ノ細部ニ關シテハ別ニ示ス

下達法將校員ヲ要旨  
大隊長 野崎大尉

報告先  
通報先  
503 特警  
504 特警



十九航地作命甲第百十五號

第十九航空地區司令部命令

三月十日 大野

一 軍ハ作戰ノ推移ニ伴ヒ伊江島飛行場ノ全面的破壊ヲ企圖セラレ

二 第十九航空地區司令部ハ球作命甲第百十二號ニ基キ先ツ三月末ヲ目途トシ伊江島飛行場ヲ急速且徹底的破壊スルト共ニ航空資材ヲ沖繩本島地區ニ撤收セシメントス

國頭支隊ハ右事項ノ實施ニ當リ協力ヲ命ゼラル

三 第五十飛行場大隊長ハ直ニ設定作業ヲ中止シ前項任務ノ必成ヲ期スベシ  
飛行場ノ破壊並ニ諸資材ノ撤收ニ関シテハ夫々主任者ヲシテ指示セシム

下達法 口達電報后印刷交付

配布先 22A 8FD 指揮下區處下各部隊

十九航空地区司令部第五十七號

第十九航空地区司令部命令

三月十六日  
大 港

一 航空地区司令部合同航空診療所ヲ大湾航空兵站宿舍  
内ニ開設セントス

二 衛生部員ノ差出ニ関シテハ航空地区司令部附外所軍醫  
少佐ヲシテ別紙ノ如ク指示セシム

三 同所ニ於テ常時齒科治療ヲモ實施ス  
其開始ノ時期ハ別ニ示ス

三 第六要塞建築隊ハ一部ヲ以テ嘉手納兵站支部ニ協  
力シ前項ノ施設ヲ援助セシムベシ 細部ハ別ニ示ス

第十九航空地区司令官

下 達 法

口達后印刷配布

配 布 先

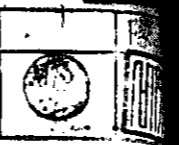
以指揮下區處下關係各部隊

命令別紙

外所軍醫少佐指示

衛生部員差出區分

部隊別	衛生部員	軍醫	衛生下士官	衛生兵
第十九航空地区司令部		—		
第四十四飛行場大隊			—	
第五十六飛行場大隊				—
誠第一整備中隊				—
第三獨立整備中隊		—		—
計		—	—	—
備考	軍醫 衛生下士官 八週毎ニ交代勤務トス			



備考	券	車	醫	衛生部員	飛行場	航空兵
第一旅団衛生部員	計	一	一	一		三
第三旅団衛生部員						一
第一旅団衛生部員						
第五旅団衛生部員						
第四旅団衛生部員						
第十旅団衛生部員						

衛生部員差出區分  
外計外車醫車衛生部員

第四十四飛行場大隊命令

一大隊ハ航空地區司令部實施スル魚類ノ取得及航空兵站ニ於ケル診療ニ協力セントス  
 二警備中隊長ハ明十七日兵ニテ地區司令部ニ差出シ午菴主計少佐ノ指揮ヲ受ケテムバシ  
 三大野軍醫中尉ハ軍醫一衛生下士官ヲ嘉嘉手納航空兵站ニ差出シ診療ニ任ゼテムバシ  
 四細部ニ關シテハ別ニ指示ス  
 大隊長 野崎大尉

下達法要旨遵後印刷配布  
 報告先 1938 陸 特警  
 通報先 654

軍令部  
十九航地作命甲第百十六號

第十九航空地區司令部命令

三月十日  
付  
大

一 第五十飛行場大隊長ハ十九航地作命甲第五十二  
號ニ拘ラズ沖繩本島南飛行場ノ保管ヲ第四十  
四飛行場大隊長ヨリ継承シ隨時飛來スル飛行  
部隊ニ協力スルト共ニ飛行場ノ補修整備ニ任  
ズベシ

保管轉移ノ時機ハ三月二十日一ニワトス  
之ガ爲將校以下二十名ヲ以テ飛行場勤務班ヲ  
編成シ先ツ三月二十日迄ニ該飛行場ニ派遣セシ  
ムベシ

猶同飛行場ニ偽飛行機ヲ速カニ配置スル事ニ  
努ムベシ

細部ハ追テ指示ス

下達法 印刷交付

配布先 32A 指揮下各部隊



陸軍  
陸軍省  
陸軍部

九航地作命乙第三六號

第十九航空地區司令部命令

三月廿一日

一 第五十六飛行場大隊長ハ西原附近ノ航空

地區部隊糧秣監視ノタメ第五百三特設隊

備工兵隊ヨリ將校以下三十名ヲ明十九日

地區司令部ヨリ差出スベシ

細部ハ午菴主計少佐ヨリテ指示セシム

下達法  
口達後印刷配布

配布先  
22A 指揮下部隊

受付  
陸軍部  
陸軍省

十九航地作命甲第百十八號

第十九航空地區司令部命令

三月三十一日 為

第十九航空地區部隊ハ球作命甲第百十二號別冊計  
畫ニ基キ特設第一聯隊ヲ編成シ現任務ノ餘力ヲ以テ  
地上戦闘ヲ準備セントス

尚増加豫定ノ独立混成第二十三聯隊ハ到着セザルモト  
シ戦闘部署ヲ定ム

ニ特設第一聯隊ノ編成並ニ戦闘部署ハ別紙ノ如シ

下達法 口達后印刷配布

配布先 以指揮下區處下各部隊

### 第三十二軍命令

三月二十一日〇九三〇  
首里

- 一 航空船舶後方關係諸部隊ハ別冊「地上戦闘」爲航空船舶後方關係諸部隊運用計畫「基キ夫々地上戦闘ヲ準備スベシ
- 二 自今兼城標高八六六高地、錢又屋取、神里南側高地及寄ノ線(含ハ)之ニ兼城及友寄ヨリ各下流國場川、饒波川ノ線(含ハ)ヲ連ヌル地域ヲ軍直轄戦闘準備區域トス
- 三 第三十四、第六十二師團長及獨之混成第四十四旅團長各防衛擔任地域内ニ於ケル戦闘準備ノ細項ニ關シ特設第一及第二旅團長ヲ區處スルコトヲ得

軍司令官 牛島 滿

下達法

印刷交付

配布区介

在沖繩本島地区獨之部隊全部

地上戦闘為船舶航空後方關係諸部隊運用計畫概略

### 第一 方針

船舶航空及後方關係諸部隊ハ豫メ地上戦闘ニ便スル如ク編成及  
部署ヲ決定シ且其餘カヲ以テ陣地ヲ構築シ作戰ノ進捗ニ伴ヒ本末  
在務ヲ完了スルカ若クハ之ヲ遂行シ得ザルニ至ラバ迅速確實ニ地上戰  
闘配置ニ移行シ以テ最後迄敵撃滅ニ敢闘ス

### 第二 要領

一 各部隊ハ其ノ隷下指揮下區處下部隊ヲ以テ地上戦闘ニ便スル如ク歩  
兵部隊ニ準シ速カニ編成ヲ定メ裝備ヲ充實ス  
二 地上戦闘移行ニ際シテ航空關係諸部隊ノ大部ハ第六十師團長  
ノ指揮下ニ入り沖繩中飛行場ノ制扼ニ同師團主力ノ戦闘ヲ

トナル  
加シ船舶後方關係諸部隊ノ大部ハ津嘉山週邊地區ニ陣地ヲ  
占領シ軍主陣地帯ノ核心部ヲ保持スト共第一線兵團後據

三 各部隊ハ豫定任務ニ基キ地上戦闘部署ヲ策定シ現任務ノ  
許ス限リ餘カヲ以テ所要ノ陣地ヲ構築シ四月十日頃迄ニ應急  
ノ態勢ヲ整ヘ爾後之ヲ増強スト共地上戦闘ノ為メ教育訓練  
ニ勉ム

### 第三 地上戦闘ニ移行参加スベキ部隊並ニ頁ノ

#### 編成裝備

一 特ニ軍ニ於テ編成スル部隊並ニ之ニ編合セラレベキ部隊次ノ如ク之  
ガ編成實施ニ関シテハ別ニ定ム

特設第一聯隊

第十九補空地區司令部

第四十四 第五十 第五十六飛行場大隊

第五百二乃至第五百四特設警備工兵隊

敵第一整備隊

要塞建築勤務第六中隊

右各部隊配屬防衛召集部隊

二 裝備

裝備ノ為各部隊ニ更ニ軍ヨリ一部兵器・彈藥・爆藥等ヲ交  
付スベキ其ノ數量僅少ナルベキニ鑑ミ各部隊ノ所在ノ資材ヲ活用シ  
其ノ裝備ノ強化ヲ計ルモノトス

第四 各部隊ノ在務及行動

一 特設第一聯隊

一 在伊江島部隊ハ伊江島飛行場ノ破壞強化並ニ航空資材  
ノ撤收ヲ續行シ狀況近迫スルニ軍命令ニ依リ首里飛行場

ニ轉移シテ首里飛行場設走ノ協力並ニ飛行場勤務ニ  
任ジ地上戦闘ニ際シテハ第六十二師團長ノ指揮ヲ受ク

二 特設第二聯隊主力ハ敵ガ沖縄北中飛行場方面ニ上陸  
スルカ若ハ我ガ航空作戰上右兩飛行場ヲ必要トセザルニ至  
ラバ軍命令ニ依リ之ヲ破壞シ島袋附近ニ轉移シ第六十二  
師團長ノ指揮下ニ入り勉メテ長ク中飛行場ノ剋拒ニ任ズ  
三 増加豫定ノ獨之混成第三十二聯隊到着セザル場合ニ於テハ軍

ノ既設陣地ニ據リ勉メテ長ク北飛行場ノ剽劫ニ任ズ

二 左記部隊ハ第六十二師團長ノ區處下ニ首里附近ニ於テ戰  
鬪ヲ準備シ戰鬪ニ際シテハ同師團長ノ指揮下ニ入ルモノトス  
左記部隊中軍主陣地帯外ニ在ル部隊ハ彼ノ首里附近  
ノ轉移ヲ準備ス其ノ轉移ノ時機ハ軍命令ニ依ル

左

記

第五野戰航空修理廠第一分廠

第三獨立整備隊

第一百十八獨立整備隊

航空路部冲繩管區

陸軍氣象部冲繩觀測所

第二十六對空無線隊

第二十一航空通信隊

### 第五 教育訓練

各部隊ハ其ノ實情ニ鑑ミ特ニ精神教育ヲ重視シ決死  
敢鬪楠公精神ノ堅持昂揚ニ勉メ術科教育ニ於テ特  
ニ左記諸件ニ重點ヲ置クヲ要ス

一 對敵車肉攻

二 夜間挺進ノ斬込

三 急速ニ哨壘陣地ノ構築

(豫メ堅固ナル築城ヲ實施シ得ヤル部隊)

十九航地作命甲第百十九號

第十九航空地區司令部命令

三月二十四日 第四部

一 海軍第五航空艦隊天山隊ハ昨日來沖繩本島ニ來襲セル敵機動部隊ヲ直接鹿乃谷ヨリ薄暮攻撃ヲ實施シ沖繩本島各飛行場ニ取投ノ豫

定

二 第十九航空地區部隊ハ全力ヲ以テ前項部隊ニ協力

セントス

三 第四十四飛行場大隊長 第五十六飛行場大隊長ハ速カニ被害復舊ヲ完了スルト共ニ戦闘整備補給

夜間該備キ速ニ協カスベシ

四 南飛行場派遣隊長ハ隨時飛來スル不時着機協力

ニ遺憾ナキヲ期スベシ

五 第一分廠 第三独立整備隊ハ一九〇〇以降一部ヲ北中飛行場ニ進出セシメ戦闘整備ニ協力スル如ク準備ニ置カベシ

六 誠第一整備中隊長 風部隊長 第三十六對空無線隊長ハ成止可ク多ク人員ヲ北飛行場ニ差出シ第五十六飛行場大隊長ノ指揮下ニ入り復舊作業ニ協力

セシムベシ

下達法 口達后印刷配布

配布先 以A指揮下區處下關係各部隊